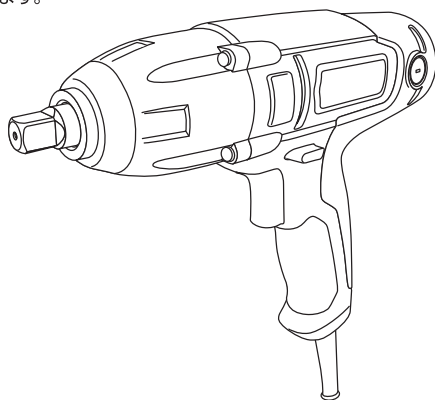


電動インパクトレンチ FT-50P

取扱説明書 保証書付

この度は、電動インパクトレンチ FT-50Pをお買い求めいただきましてありがとうございます。
この「取扱説明書」はFT-50Pを安全にご使用いただく為のガイドブックです。弊社製電動インパクトレンチを初めてお使いいただく方はもちろん、すでにご使用になられた経験をお持ちの方にも、知識や操作方法を再確認する上でお役に立つものと考えております。
この「取扱説明書」を最後までよくお読みになり、内容を理解された上で正しくご使用くださいますようお願い致します。又、常にこの「取扱説明書」をお手元に置かれて作業されることをお勧め致します。



もくじ

① 安全に関するご注意	P.1～2
② 使用用途	P.2
③ 各部の名称及び標準付属品	P.3
④ 作業前の準備及び確認	P.3
⑤ ご使用前に	P.4
⑥ 使用方法	P.4
⑦ 締め付け作業上のご注意	P.5
⑧ タイヤの交換方法	P.6～8
⑨ 保守・点検	P.8～9
⑩ 修理のときは	P.9
⑪ 製品仕様	P.9
⑫ 保証規定/保証書	P.10

① 安全に関するご注意 ※本製品を安全に正しくお使いいただく為に必ずお守りください。

電動工具の安全上のご注意

本製品をご使用前に取扱説明書（本書）をよく読み十分理解された上で使用してください。取扱説明書には重要事項の説明が記載されています。記載内容に従わずに使用した場合、重大な事故につながります。



重要

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容、及び物的（車両等）損害の発生も想定される内容を示しています。

- ① 作業場はいつもきれいに保ってください。
 - 散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - 電動工具は、雨中で使用したり、湿った又は濡れた場所で使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある場所で使用しないでください。
- ③ 感電に注意してください。
 - 電動工具を使用中、身体をアース（接地）されているものに接触させないようにしてください。（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫等の外枠）
- ④ 子どもを近づけないでください。
 - 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - 作業者以外、作業場に近づけないでください。
- ⑤ 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - 乾燥した場所で、子どもの手の届かない高い場所、又は錠のかかる所に保管してください。
- ⑥ 無理して使用しないでください。
 - 安全に効率よく作業する為に、電動工具の能力にあった作業をしてください。
- ⑦ 作業にあった電動工具を使用してください。
 - 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑧ きちんとした服装で作業してください。
 - サイズが大きい衣装やネックレス等の装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので、着用しないでください。
 - 屋外での作業の場合は、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - 長髪の方は帽子やヘアカバー等で覆ってください。
- ⑨ コードを乱暴に扱わないでください。
 - コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のどがった所に近づけないでください。
- ⑩ 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - 常に足元をしっかりとせ、バランスを保つようにしてください。
- ⑪ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - コードは定期的点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、又は当社に修理を依頼してください。
 - 継ぎ（延長）コードを使用する場合は、定期的点検し、損傷している場合には交換してください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースは除去しておいてください。
- ⑫ 次の場合は、コンセントから電源プラグを抜いてください。
 - 電動工具を使用しない場合。
 - ソケット等の付属品を交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
- ⑬ 不意な始動は避けてください。
 - 電源をつないだ状態で、スイッチの引金に指をかけて運ばないでください。
 - 電源プラグをコンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- ⑭ 屋外使用にあった継ぎ（延長）コードを使用してください。
 - 屋外で使用する場合、キャプタイヤコード又はキャプタイヤケーブルの継ぎ（延長）コードを使用してください。
- ⑮ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分に注意して慎重に作業してください。
 - 取扱説明書に従い、無理な使用は行わないでください。
 - 疲れているときは、使用しないでください。
- ⑯ 損傷した部品がないか点検してください。
 - 使用前に、本体ケースやその他の部品に損傷がないか十分に点検し、正常に作動するか、又所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整及び締め付け状態、部品の損傷、取付状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 損傷した本体ケース、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、又は当社に修理を依頼してください。
 - スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店、又は当社へ修理を依頼してください。
 - スイッチで始動及び停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
- ⑰ 指定の付属品を使用してください。
 - この取扱説明書に記載されている指定の付属品やアタッチメント以外を使用すると、事故やケガの原因になる恐れがありますので、使用しないでください。
- ⑱ 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。
 - 本製品は、該当する安全規格に適合させていますので、改造しないでください。
 - 修理は、必ずお買い求めの販売店、又は当社にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やケガの原因になります。

② 二重絶縁について

電気が流れる導体部と人の触れる外枠部の間が、二つの絶縁物で二重に絶縁されている電動工具であり、この製品には、“回”マークを表示しています。二重絶縁工具は、感電に対し安全性が高められています。異なった部品と交換したり、間違えて組み立てたりすると、二重絶縁構造ではなくなり、安全でなくなる場合があります。電気系統の分解・組み立てや部品の交換・修理は、お買い求めの販売店、又は当社にご用命ください。

電動インパクトレンチの使用上のご注意

ご使用上の注意事項は **警告** と **注意** に区分しています。

注 も含めた意味の説明は下記の通りです。



重要

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容、及び物的（車両等）損害の発生も想定される内容を示しています。

- ① 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - 表示を超える電圧で使用しますと、回転が異常に高速となり、ケガの原因になります。
- ② 使用中は、振り回されないよう本体を確実に保持してください。
 - 確実に保持していないと、ケガの原因になります。
- ③ 使用中は、ソケット等の回転部に手や顔を近づけないでください。
 - ケガの原因になります。
- ④ 使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音がしたときは直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、又は当社に点検・修理を依頼してください。
 - そのまま使用していると、ケガの原因になります。
- ⑤ 誤って落としたり、ぶつけたときは本製品に破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - 破損や亀裂、変形があると、ケガの原因になります。



重要

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、及び物的（車両等）損害の発生が想定される内容を示しています。

- ① 輸入車について。
 - 輸入車はホイールボルトを使用している場合があります。この取扱説明書はホイールナットを装着している車両を想定して作成されています。ホイールボルトを使用の車両はホイールナットをホイールボルトに置き換えお読みください。又、17mmディープソケットが必要な場合があります。その際は別途ご購入ください。
- ② 工具類（ソケット等）や付属品は取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - 確実でないとはずれたりし、ケガの原因になります。
- ③ 使用中は、サイズのあわない大きめの軍手等、巻き込まれる恐れがある手袋は着用しないでください。
 - 回転部に巻き込まれ、ケガの原因になります。
- ④ コニバーサルジョイント使用時は、無負荷で運転しないでください。
 - ソケットが振り回され、ケガの原因になります。
- ⑤ ホイールメーカー、ホイールナットメーカーの指示により本製品が使用不可の物もありますので、各メーカーの取扱説明書の指示に従ってください。
 - 説明書の指示を守らないと、ホイール、ホイールナットにキズや破損の恐れがあります。
- ⑥ アルミ製ホイールナットには使用しないでください。
 - ホイールや車両を破損する原因になります。



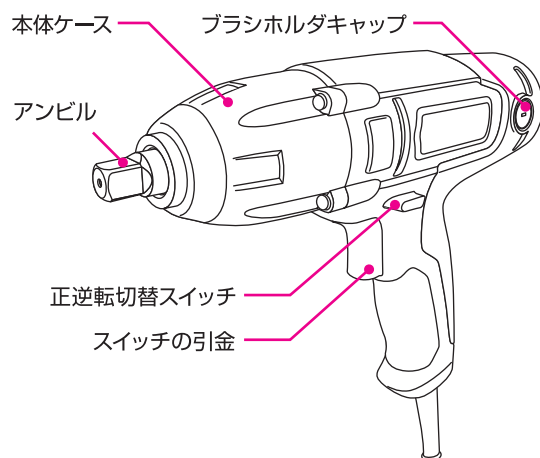
製品の据付け、操作、メンテナンスに関する重要な内容を示しています。

② 使用用途

本製品は、車のホイール脱着時における自動車用ホイールナットの取りはずしや仮締め使用するものです。本締めは必ずトルクレンチを使用してください。目的以外の使用は絶対にしないでください。

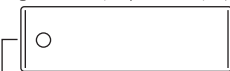
③ 各部の名称及び標準付属品

■各部の名称

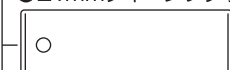


■標準付属品

●19mmディープソケット…1ヶ

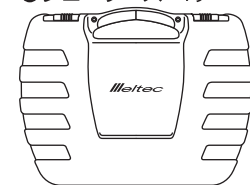


●21mmディープソケット…1ヶ



差し込み角12.7mm

●ブローケース…1ヶ



※17mmディープソケットは付属していません。
別途ご購入ください。

④ 作業前の準備及び確認 ※作業前に次の準備及び確認をすませてください。

① ジャッキ、ジャッキスタンド、交換用タイヤ、
工具(トルクレンチ、17mmディープソケット等)、ウエスの準備

② 漏電遮断器の確認

本製品は、二重絶縁構造ですので、法律により漏電遮断器の設置は免除されていますが、
万一の感電防止の為、漏電遮断器が設置されている電源に接続することをおすすめします。

③ 継ぎ(延長)コードの確認

警告 継ぎ(延長)コードは、損傷のないものを使用してください。

電源の位置がはなれていて継ぎ(延長)コードが必要なときは、製品を本来の能力で故障なくご使用いただく為、電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてご使用ください。右の表は、本製品に継ぐことのできるコードの太さ(導体公称断面積)とその最大の長さを示します。

導体公称断面積	最大の長さ
0.75mm ²	20m
1.25mm ²	30m
2mm ²	50m

④ 作業環境の整備・確認

作業をする場所が注意事項にかかげられているような適切な状態になっているかどうか、確認してください。

騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県等の条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、遮音壁を設けて作業してください。

⑤ ご使用前に

警告 ご使用前(電源プラグをコンセントに差し込む前)に下記内容を確認してください。

① 使用電源を確かめる

必ず本製品の銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に高速になり、本製品が破損する恐れがあります。
又、直流電源で使用しないでください。本製品の破損を生じるだけでなく、事故の原因になります。

② ホイールナットにあったソケットを選定する

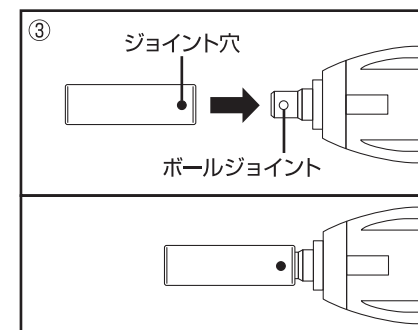
ホイールナットのサイズにあったソケットをご使用ください。
サイズの異なったソケットを使用しますと、ソケットやナットが損傷します。
ソケットの六角穴や四角穴が摩耗すると、ソケットやアンビルとのガタツキが大きくなり、締付トルクが減少します。ソケットの摩耗具合をみて新しいものと交換し、ご使用ください。

③ ソケットを取り付ける

注意 ソケットにヒビ、ワレがないことを確認してください。ソケットが破損し、ケガの原因になります。

注意 ソケットは、必ず正規の位置にセットしてください。確実でないとはずれたり、ケガの原因になります。

アンビルのボールジョイント部と、ディープソケットのジョイント穴をあわせ、確実に差し込む。



④ 電源コンセントを点検する

電源プラグを差し込んだとき、ガタついたり、すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。
お近くの電気工事店等にご相談ください。そのままお使いになりますと、接触不良等で過熱して事故の原因になります。

⑥ 使用方法

① 正逆転切替スイッチを下図のように押し込むと回転方向が切り替わります。



※正回転…正ネジを締める回転
逆回転…正ネジをゆるめる回転

注 回転方向を切り替える際は、スイッチの引金を放し、モーターが完全に停止したことを確認してから、回転方向を切り替えてください。

② スイッチの引金を引き、モーターを回転させる。

スイッチの引金を引くとモーターが回転し、放すと停止します。

注 ホイールナットの最終締め付けは、トルクレンチを使用し、規定のトルクにて締め付けてください。

⑦ 締め付け作業上のご注意

① 使用電源の電圧を確認する

ご使用になる電源の電圧が、本製品の銘板記載の電圧より低くなると、締め付トルクも小さくなります。例えば100V品を90Vの電圧でご使用になりますと、締め付トルクは急激に減少します。継ぎ(延長)コードをご使用になるときは、コード芯線の太いものをできるだけ短くしてご使用ください。電源電圧が低下している場合、長い継ぎ(延長)コードをお使いになる場合等には、昇圧器のご使用をおすすめします。

△注意 車両により、自動車用ホイールナットが逆ネジの場合がありますのでご注意ください。

② ホイールナットを締めすぎないように注意する

ホイールナットの適正締め付トルクは、ホイールナットの材質やサイズ、等級等によって異なります。小径のホイールナットを大きな締め付トルクで締めますと、ボルトが伸びたり切断する恐れがあります。ホイールナットは本製品が打撃を始めない程度で締め付け、再度トルクレンチにて適正トルクを確認してください。

③ 本体を保持する

本体は、両手で確実に保持してください。
本体を保持した際には、ホイールナットに対して本体がまっすぐになるようにしてください。又、本体は必要以上に押し付ける必要はありません。反力を押さえる程度で十分です。次に示すような原因により、締め付トルクは低下することがあります。従って本作業の前に、必ず何本か実際に締めて締め付トルクを確認してください。

締め付トルクに影響する要因(一般的な場合)

(1) 電圧

電圧が降下すると締め付トルクは低下します。

(2) 締め付け時間

締め付け時間を長くすると締め付トルクも増加します。
ただし、あまり長時間(2秒目安)締めても上限値以上は増加しません。

(3) ボルト径が異なる場合

ボルトの径が変わると締め付トルクも変わります。
一般に大きなボルト径ほど締め付トルクは高くなります。

(4) 締め付け状態により

- 同じボルトでも、トルク係数(ボルトの仕上がり状態により決まる係数、ボルトメーカーで表示)、等級、長さによって締め付トルクは変化します。
- 締付物(ホイール)の座面形状によっても締め付トルクは変化します。
- ナットとボルトが共回りすると大幅に締め付トルクは低下します。

(5) 別売部品の使用

ユニバーサルジョイント、エクステンションバー等を使用すると若干締め付トルクが減少します。

(6) ソケットのガタツキ

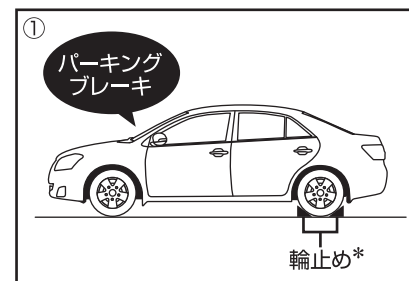
- ソケットの六角部、四角部が摩耗してガタツキが大きくなると締め付トルクが低下します。
- ナット、ボルトにあったサイズのソケットを使用しないと締め付トルクは低下します。適切なソケットをご使用ください。

⑧ タイヤの交換方法 (例:フロアジャッキを使用した場合) ※イラストはホイールナット装着車です。

本製品を使用する前に、車の取扱説明書やタイヤホイールの取扱説明書をよくお読みになり、その指示に従ってご利用ください。

△警告 硬い地面で、平坦な場所であるか確認して車を停車する。

△警告 走行直後のディスクホイールやブレーキまわりは高温になっている為、タイヤ交換等で手や足等が触れると、ヤケドをする恐れがあります。

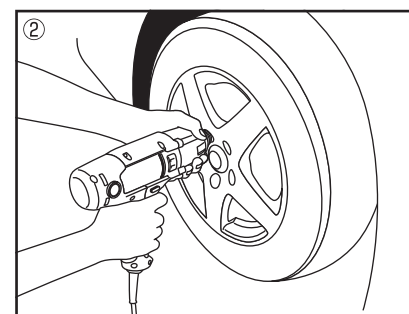


① パーキングブレーキを確実にかけ、下記「輪止めの位置」を参照しタイヤに輪止めをセットする。

*輪止めの位置

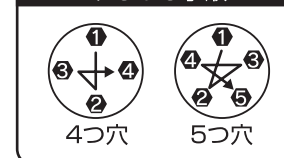
交換するタイヤ	輪止めの位置
前輪	後輪
後輪	前輪

※左右輪を同時にジャッキアップする場合です。

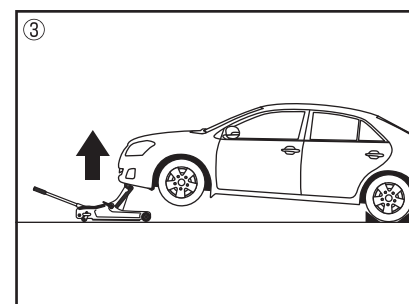


② ジャッキアップ前に本製品を使用しホイールナットを少し(約1回転)ゆるめておく。
※タイヤにホイールキャップやセンターキャップが装着されている場合は、車の取扱説明書の指示に従い、取りはずします。

ゆるめる手順

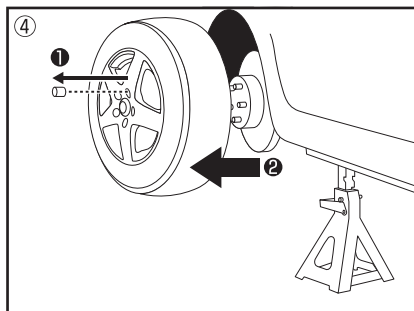


△注意 車種や締め付けの状態により本製品ではゆるまない場合があります。その際は、ホイールナットレンチ等を用いて手で、ゆるめてください。

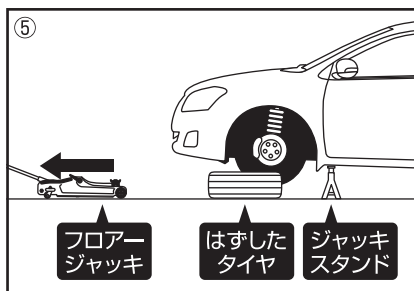


③ 車の取扱説明書に記載されているジャッキポイントを確認の上、ジャッキスタンドが車両のジャッキセット位置の下に入るまでジャッキアップを行う。
※ジャッキポイントが不明な場合はディーラー等で必ず確認してください。

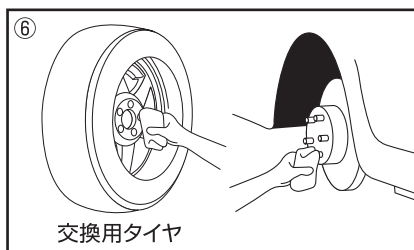
△警告 必要以上に高く上げないでください。不安定になりジャッキがはずれることがあります。



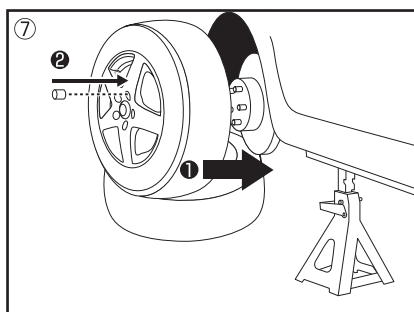
- ④ ジャッキスタンドを車両のジャッキセット位置の真下になるようあわせて置き、ジャッキスタンドが車両を保持するまでジャッキダウンする。ジャッキスタンドが車両を完全に保持しているのを確認し、本製品でホイールナットをはずし、タイヤをはずす。



- ⑤ 万が一の事を考慮し、はずしたタイヤを車体の下に敷き(意匠面を上にする)、ジャッキのアームを下げてフロアジャッキを移動させる。



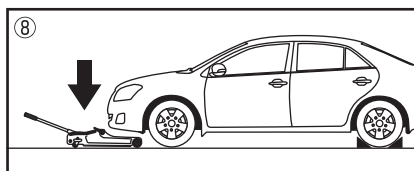
- ⑥ ホイール接触面の汚れをウエス等で拭き取る。



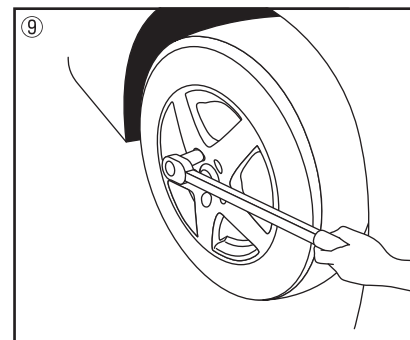
- ⑦ 交換用タイヤを取り付け、ホイールナットを手で回して取り付けた後、本製品を用いて仮締めする。

⚠注意 仮締めの時は、本製品が打撃を始めない程度で締めてください。

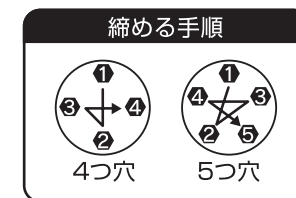
⚠注意 ホイールメーカーの指示により本製品が使用不可の場合がありますので、ホイールメーカーの取扱説明書の指示に従ってください。



- ⑧ 再びフロアジャッキをジャッキポイントまで移動させ、ジャッキスタンドが取りはずせる位置までジャッキアップする。車体の下に敷いていたタイヤと、下に入れたジャッキスタンドをはずし、ゆっくりとジャッキダウンする。



- ⑨ フロアジャッキを安全な所まで移動してから、トルクレンチを使用し、ホイールナットを本締めする。
※締付トルクは、車の取扱説明書又はカーディーラー等でご確認ください。



⚠警告 ホイールナットの過度の締め付けは、ハブボルトの損傷やネジ山の損傷を起こします。又、締め付け不足は、走行中にホイールナットがはずれ重大な事故につながる可能性があります。本製品は締め付けるトルクが高いので十分注意してください。

⚠注意 本製品には、トルクを調整する機能がありません。従って、本製品では、締め付け過ぎたり、締め付け不足が起こる可能性があります。本製品での締め付けは仮締めまでとし、最後はトルクレンチを用いて、車種にあった規定の締付トルクで、確実に締め付けを行ってください。

⑨ 保守・点検

⚠警告 点検・手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

① ソケットの点検

ソケットの六角穴や四角穴が摩耗するとガタツキが大きくなり、締付トルクが低下します。定期的にソケットを点検し、摩耗している場合は新品と交換してください。

② 各部取付けネジの点検

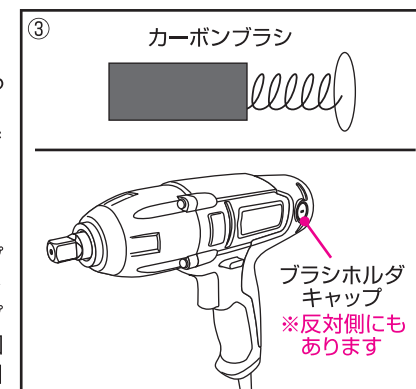
各部取付けネジがゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら、締めなおしてください。ゆるんだままお使いになりますと、ケガ等事故の原因になります。

③ カーボンブラシの点検

カーボンブラシは定期的に、取りはずし点検してください。スイッチを入れても回転に不具合が生じる場合は、新品と交換してください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内前後にスムーズに動くことを確認してください。

④ カーボンブラシの交換方法

マイナスドライバーを使ってブラシホルダキャップを取りはずし、中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と交換した後、ブラシホルダキャップを取り付けてください。カーボンブラシは左右2個で一組になっています。交換する場合は、必ず2個同時に行ってください。



④ 使用後の手入れ

油污れ等を拭き取り、使いやすい状態にしておいてください。

乾いた布が少量の石けん水をつけた布で本製品を拭いてください。ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本製品を傷めます。又、水洗いは絶対にしないでください。

⑤ 本製品や付属品の保管

使用しない本製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

このような場所には保管しないでください。

- お子様の手が届く所や、簡単に持ち出せる場所
- 軒先等雨がかかったり、湿気のある場所
- 温度が急変する場所
- 直射日光が当たる場所
- 引火や爆発の恐れのある揮発性物質の置いてある場所

⑩ 修理のときは

本製品は、精密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は、お買い求めの販売店、又は当社にご依頼ください。

※外観等一部を変更している場合があります。

⑪ 製品仕様

使用電源	単相交流 50/60Hz 電圧AC100V
能力	ボルトサイズ:M10～M14 (普通ボルト)
締付トルク	250N・m (電圧100V/締め付け時間2秒) 継ぎ (延長) コードなしの場合
アンビル部寸法	12.7mm (ソケット取付部の四角の対辺寸法)
電流	3.5A
消費電力	定格 350W
回転数 [回転/分]	0～2900min ⁻¹
打撃数 [回/分]	0～3100min ⁻¹
付属品	ディープソケット (19mm・21mm)
電源コード長さ	約2.1m
本体サイズ	約80 (W) ×205 (H) ×290 (D) mm
重さ	約3.1kg (コード、ソケットを除く)